

日 刊 新東京	No.572	2011年2月3日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

作業用ヘルメット

昨年(2010年)の11月5日からゆうパックの現場ではヘルメットを着帽して業務に従事し、早いもので3ヶ月を過ぎようとしている。ということでヘルメットについての概要を少し・・・

日本における保護帽(ヘルメット)の着用規定として、下記の作業において使用者は労働者に保護帽を着用させなければならない。また、労働者は指示された場合に保護帽を着用しなければならない。

飛来・落下物用

- ・ 物体の飛来落下の恐れのある場所における作業
- ・ 型枠支保工の組立作業
- ・ 足場の組立等の作業
- ・ クレーンの組立・解体作業
- ・ 建設用リフトの組立・解体作業
- ・ 採石作業・船内荷役作業・港湾荷役作業・造林作業時など

他にも墜落時保護用・電気用などの細かい着用規定があり、労働安全衛生規則に加えて行政指導通達による保護帽の着用規定も存在する。

ゆうパックの現場にヘルメットが配備されてから黄色鉄パレットによる頭部への怪我・事故は減少した。その点についてはありがたいことだが、それでも黄色鉄パレットによる労災は無くなってはいない。黄色鉄パレットの転倒または挟まれることにより手足を負傷するという事故等がある。以前から現場では黄色鉄パレットを改善して欲しいなどの要望・要求を早い段階から挙げていたが、一向に改善されず、その代わりとしてヘルメットが配備された。幸いなことに重篤な障害を伴うような労災は起こっていないが、現在のままの黄色鉄パレットを使用していれば起こりうることである。アルミパレットに代わる輸送容器として今後も使用するのであれば、棚(中棚・床板)の軽量化などの改善を行い、現場での要求・要望を尊重し、重要視して欲しい。

節分の日 豆撒き or 恵方巻き

豆撒き

豆を撒き、撒かれた豆を自分の年齢の数だけ食べる。また、自分の年の数の1つ多く食べると、身体が丈夫になり、風邪をひかないという習わしがあるところもある。豆は「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、1年の無病息災を願うという意味合いがある。寺社が邪気払いに行った豆打ちの儀式を起源とした行事であり、室町時代の書物における記載であることから少なくとも日本では室町時代以降の風習であると考えられる。使用する豆は、お祓いを行った炒った大豆であるが、北海道・東北・北陸・南九州では落花生を撒く地域もある。これは大豆よりも回収しやすく、殻ごと撒くため地面に落ちてでも食べられる等の利点がある。

恵方巻き

恵方巻きは、節分に食べると縁起がよいとされる太巻き、またはそれを食べる大阪を中心とした風習。別称として「丸かぶり寿司」「恵方寿司」「招福巻」「幸運巻」「開運巻き寿司」などと表現されることもある。

起源や発祥は諸説存在し、信憑性も定かではないが江戸時代末期から明治時代初期において大阪の商人による商売繁盛の祈願事として始まったという説がある。起因として、厄落としや縁起担ぎなどが挙げられる。

恵方巻きは、節分の夜にその年の恵方に向かって一言もしゃべらず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりするのが習わしとされている。商売繁盛や無病息災を願って、七福神に因に7種類の具を入れることで、福を巻き込む意味があるとする節もある。恵方巻きの認知度は2002年時点では53%だったが、2006年には92.5%となり、認知度は増加傾向にある。

あなたの家庭ではどちらを行っていますか？

日刊

新東京

NO 573

2011年
2月4日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

上意下達の企業風土の改革

第7回中央委員会議案

J P 労組は、2月17日～18日に東京・池袋で、第7回中央委員会を開催する。今中央委員会は、2011春季生活闘争の取り組みなどの他に、「企業風土改革」の取り組みがある。

これまでの経過

昨年7月の宅配便事業統合にかかる混乱の大きな要因となった「上意下達の企業風土」は、企業の存亡にかかわる重大な問

題である。

J P 労組は、各機関が統合の準備段階から問題提起してきたことが、結果として経営トップに届いていなかったことを重大視し、企業風土改革に向けて、6項目について要請してきた。中央本部は今後、地方の労使協議会における意見をふまえ、



ブルタブ回収しています！
缶コーヒーやジュースについているブルタブで椅子を福祉施設に

順次、実行を求めていくこととし、次のとおり優先順位をつけて取り組むとしている。

課題と今後の対応

(a) まずは、J P 労組が要請した6項目を優先的に取り組むこととし、企業風土改革に欠かすことのできない「①労使関係の重要性の再確認と安定化に向けた取り組み」を展開していくこととします。具体的には、全機関で「労使パートナー宣言」を再確認するとともに、労使コミの充実に向けた事業推進委員会の

開催を求める。

(b) 「②職場実態の把握に向けたコミュニケーションの確立」や「③危機意識の醸成に向けた現場の情報把握」の取り組みを求める具体的には、年度末までを目途に、すべての職場において現場の管理者が社員の意見を聞く場を設定するよう求めていく。

(c) 「④上意下達型の組織運営からの脱却」や「⑤縦割り組織の弊害克服とグループ内の連携強化」また、「⑥管理者教育の再構築および人事評価制度の見直し」の取り組みについては、本社・支社・現場および会社同間の人事交流の枠組みづくりや、現場の意見が支社・本社に上がる仕組みづくり、また、下部への権限委譲などを早期に実行するよう求めていくとしている。

10年平均の失業率5・1%

正社員の求人低水準のまま

総務省が先月末発表した2010年の平均の完全失業率は前年と同じ5・1%だった。過去3番目に悪い水準だ。また、同時に厚生労働省が発表した同年の平均の有効求人倍率は0・52倍で、わずかだが過去最低だった09年を0・05ポイント上回った。

また、昨年12月の完全失業率は前月より0・2%低い4・9%。一方、有効求人倍率は前月と変わらず0・57倍だった。完全失業者数は298万人で、前年同月より19万人減った。



これは企業の倒産やリストラなどが減ったためと見られている。厚生労働省は「持ち直しの動きが広がりつつある」としているが、正社員の有効求人倍率は0・38倍で、相変わらず非正規の安い労働力を求める傾向は変わっていない。

日 刊

JP 新東京

No.575

2011年
2月8日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

永久の平和への願いを...

「折り鶴に込めて」



JP労組新東京支部教育部と広報部の協賛で郵政退職者会東京都主催の東京平和集会「忘れてはならない東京大空襲」で千羽鶴を組合員数分作成し贈呈する行動をするにとしました。

毎年3月10日に開催されるこの集会は、平日に開催されることが多く参加しようにも出来ないのが

現状です。しかしながら、一瞬にし

て10万人もの尊い命を奪ったこ

の惨事は決して忘れてはなりません。

一人一人の心のどこかに留めて

おく必要があります。そこで、千羽

鶴を折り贈呈することで、この惨事

を風化させることなく語り継いで

いくこととしました。

約1300羽の鶴を折る予定で

す。支部事務室では執行委員や事務

室を訪れた組合員で毎日鶴を折っ

ています。各分会にも折り紙を配布

しています。休館室で出来る平和へ

の取り組みにご協力お願いします。

= Kさんの投稿 =

幼稚園に通うお子さんの
いるAさん。支部にお願い
し、自宅でお子さんと一緒
に折り紙で鶴を折るの結
構難になりました。「どう
して折り紙を折るの？」
子供ながら戦争の悲惨さ
を伝えることが出来まし
た。

◇FC新東京(フットサルサークル)

日曜BUNBリーグ参戦決定!◇

○2011年2月27日(日)

○14時

(夢の島フットサルプラザBUNB)

◎今年初のフットサルサークル活動は1月23日(日)に同会場で開催された日曜BUNBリーグの参加となりました。結果は職場で繁忙期中の練習を実施しなかったためか3戦中1勝2敗でした。しかし、未だ無得点だった副キャプテンが今回初ゴール!幸先のいいスタートとなりました。

◇新メンバー随時募集中!!◇

楽しく体を動かすことを目的としたサークルです・気軽に参加してください。

主催；郵政退職者会東京都

3月10日には、東京都慰霊堂へ
忘れてはならない
東京大空襲

(通算第7回)

2011 東京平和集會に集まろう!!

本年3月10日は66年目の東京大空襲の日を迎えることになります。
2005年開催の第1回「忘れてはならない 東京大空襲」は、20名程の参加でしたが、年々と参加者は増加し、さらに現役からの参加者も加わり、昨年は154名の郵政関係者による東京平和集會となりました。

平和は自分の手でつかむ趣旨あい、交通費や弁当は自分持ちです。
なお、靈前に捧げるお花代や集會関係費は、退職者会で準備いたします。

いま極東地域はきな臭い匂いが漂っています。いかなる戦争にも反対し、東京大空襲犠牲者に祈りを捧げ、平和な社会を築くことを求め、今年も多数の参加者があることを期待しています。

日時； 2011(平成23)年3月10日(木) 正午(12時)

集會場所； **東京都慰霊堂** (別名；震災記念堂)

(裏面に
地図) 墨田区横網1丁目(横網町公園内で、第一ホテルの隣です)
交通は、JR総武線または地下鉄大江戸線「両国駅」下車

集會など； 東京都慰霊堂での献花と拝礼後に集會場へ移動し、平和集會を開催します。会場および集會次第は現在は未確定です。
詳しい集會内容などは、当日にお知らせいたします。

当日の現地緊急連絡先 090-1796-1703

(共催；中部、東部、西北、南部、多摩)

日 刊 J P 新 東 京	No.576	2011年 2月 9日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

風通しのよい職場づくりを目指した 全社員の経営参画の取り組みについて

昨日、郵便事業会社から標記について説明がありましたので、周知するとともにその対応について以下の通り要請します。

〔取り組みの主な内容〕

取り組みの主な内容は、喫緊の課題である「郵便事業会社の損益改善」に向けて、全社員と現状の共有化を図り、支店の損益改善に向けた社員の意見を聴取し、平成23年度支店経営実行計画に盛り込んでいくというものです。

※ 取り組みの詳細については、別添資料の「全社員の経営参画」および関連資料を参照願います。

また、この取り組みを通してJP労組が求めている「風通しのよい職場づくり」を進めていきたいとしています。

〔やりとり模様〕

本部は、「取り組みの趣旨は理解できるものであり、JP労組としても協力していくこととするが、例えば、JP労組が費用対効果の視点から指摘している年賀予約の見直しや臨時出張所の見直しについて、今回の意見聴取でも多くの意見が出されるものと考え。しかし、次年度の営業方針が今回の意見聴取に基づいて策定されるづくりにはなっておらず、結果として今回の取り組みが単に社員の意見を聞いただけに終われば社員のモチベーションは下がる」との問題点を指摘しました。

本社は、「営業方針については、別途、組合説明を行い、組合の意見表明を踏まえ協議のうえ整理を図っていくものであり、今回の意見聴取により策定するものではないことを理解願いたい。また、社員のモチベーションを高めることが目的でもあり、留意して取り組んでいきたい」との見解を示したところです。

〔本部の判断〕

本部は、喫緊の課題である損益改善に向けて社員の意見を聞き、経営に採り入れていくという取り組みは、必要かつ重要なことであり、問題点を明らかにしたうえで協力していくこととし、取り組みの充実に資する観点から職場事業推進委員会窓口において取り組みの趣旨・実施方法等について事前説明を行わせることにしました。各機関は、趣旨を踏まえ、それぞれの職場の実情にあった方法で、この施策が有効なものとなるよう対応願います。

また、営業方針については、費用対効果の視点で諸施策を厳しくチェックし、必要な見直しを求めていくこととします。

以上

労金財形募集中！！

- 一般財形・・・目的は自由。積立中に資金が必要になっても、いつでも自由に払戻しできるのであんしんです。
- 住宅財形・・・住宅財形と年金財形を合わせた元利（元金と利息）合計が550万円に達するまで利息が非課税で積立できます。
- 年金財形・・・住宅財形同様、住宅財形と年金財形を合わせた元利（元金と利息）の合計が550万円に達するまで利息が非課税で積立できます。

※詳しくは支部まで

	No.577	2011年2月10日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

首都圏郵政健康管理センター新東京分室の診療業務の廃止

首都圏郵政健康管理センターによる、新東京分室の診療業務の廃止についてお知らせします。

概要については下記の通りですが、要員関係、現状受診している社員への対応、周知関係についてですが、要員関係については、診療業務廃止に伴う要員減は行わない。健康管理業務として必要な要員は措置する。現在受診している社員への対応は、診療業務は廃止のため、診療が必要な社員に対しては、近隣の医院を紹介する等、丁寧な対応を行う。周知については、支店にも協力要請を行い、早期に周知し、周知漏れのないよう対応するとの回答がありました。

地本は、廃止については本部・本社間において整理されていることから、新東京の社員に対し、丁寧な対応を行うことを要請し、了としました。

記

1 概要

健康管理センターの診療業務の廃止については、平成22年9月に本社・本部間で情報提供をいたしました。が、首都圏郵政健康管理センター新東京分室の診療業務の廃止が決まりましたので、お知らせします。

2 診療を廃止する施設

首都圏郵政健康管理センター 新東京分室

3 診療廃止時期

平成23年3月31日(木)

4 診療を廃止する理由

- (1) 産業医が行う健康管理業務と診療業務の峻別の必要性（利益相反の排除）
- (2) 社員(共済組合員)専用の診療を行う必要性の低下
- (3) 診療に伴う現金管理等の業務負担

5 社員への周知等

施設内に診療廃止について掲示して周知する他、診療中の社員に他の病院を紹介するなどの対応を行います。

ろうきん財形募集中！

2月 は財形貯蓄の新規・金額変更の募集時期です。未来の安心のためにこの機会にぜひ積立を始めてみてはどうですか？

一般財形・・・目的は自由。積立中に資金が必要になっても、いつでも自由に払戻できるので安心です。せっかくはじめた財形を途中で解約せずに継続して積立ができます。

住宅財形・・・住宅財形と年金財形をあわせた元利（元金と利息）合計が550万円に達するまで利息が非課税で積立できます（※）。マイホームの新築・購入（中古含む）の他にも増改築やリフォームなど、住まいの資金づくりに最適です。

※要件を満たした住宅取得やリフォームの費用に充てるために払戻す場合に限り。資金用途以外の目的で払戻す場合は全額解約となり原則解約日以前5年以内に支払われた利息および中途解約利息について課税されます。

年金財形・・・住宅財形と年金財形をあわせた元利（元金と利息）合計が550万円に達するまで利息が非課税で積立できます（※）。老後の暮らし方に応じて何歳から受取るか？何回受取るか？あらかじめ選択できます。「ろうきん」口座を受取口座に指定すれば振込手数料が無料です。

※資金用途以外の目的で払戻す場合は全額解約となり、原則解約日以前5年以内に支払われた利息および中途解約利息について課税されます。ただし、年金支払開始から5年を経過して解約する場合には中途解約利息のみに課税されます。

提出期間、方法等の詳細については、支店内掲示板に掲示されていますので確認してください。

マイカー共済に入ろう 加入随時募集中

割安な掛金で安心した充実補償を得られる自動車保険です。事故の際の示談代行や相談などの「損害調査サポート」も充実しています。他社から切り替えても無事故割引（等級）は継承しますので、ぜひ検討してみてください。

ポストライフ サービスセンター（マイカー共済専用）

電話 0120-562-100（無料）

9時00分～17時30分 平日のみ



厳しい現状を見つめつつ……

職場問題・入試繁忙について意見集約 第二特殊分会

二月二日、二特分会会議を五名の参加で、おこないました。

ふえて、集まる輪が広がっていることを確認しあいました。

はじめに佐々木分会会長より、このかんの正社員歓迎会、分会忘年会、配布物・共済の取り組みが新しい分会幹事たちの協力で楽しくおこなわれていることに感謝する発言がありました。

またゆうメイトさんの参加が

またゆうメイトさんの参加が

・民主党には頑張つてモノをもつと言つてもらいたい。消費税反対の声をあげて欲しい。など。

②中間決算と収支改善について。会社側は責任をとつて総辞任するぐらいの決意を示して欲しい。交渉ルールを改善し現場の声が諸施策に反映できるように。

③入試繁忙。業研を十二月三十一日からおこなうのはまずい。網渡り的で場当たり的な業務になつてしまった。など(のちに集約します)

④送別会の取り組み。

書留処理システムがどのようになっているのか説明がないこと。そのほかに職場での問題点を出しあいました。

そのあと、次のことを話し合いました。

①二月一七日からおこなわれる第七回中央委員会に向けて意見集約。

・厳しい現状は理解するが、月給制・時間制社員・社員の賃金改善をしてほしい。

「郵政改革に関する意見・提言」

二日、J P 労組、会社側に趣旨説明し提出

組合員の率直な想いを可能な限り反映することを基本に、この意見・提言は、

- ① 法案成立により実現可能なもの、
- ② 法案の成立如何を問わず早急に改善すべきもの、
- ③ 商品・サービスの改善・開発に関わるものに峻別し構成したところです。

中央本部・増田書記長

「J P 労組は、法案の早期成立に向け取り組んでいるが、その一環として、法案の成立

をより実効あるものとする見地から、現場で働くものの立場と目線で、グループの成長・発展とお客さまの利便性向上を願い、正に『現場の知恵』とも言うべき、組合員の率直な想いを意見・提言として集約したところである。

経営側として、そうした想いを真摯に受け止め、誠意を持って検討のうえ、早期に見解を示されたい」と申し入れました。

中央本部は、今後の国会に

おける法案審議の動向等を慎重に見定めたいうえで、可能な範囲で第四回定期全国大会に論点整理のうえ中間報告することとします。

【詳しい内容については省略】

当面の予定

支部・分会 宿泊会議

2月20日～21日

鬼怒川温泉

あさや

日
刊

JP新東京

No.579

2011年2月15日(火)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

グループ各社の労働協約の 一部改正について提案妥結

グループ各社より以下の項目に関係する労働協約の一部改正
について提案がありました。

- (1) 期間雇用社員の雇用形態区分等(呼称の統一・全国大会決定要求事項)
- (2) 正社員登用時の年次有給休暇の発給日数(年度発給日数の取扱い)
- (3) 自動車通勤者に係る証明資料の提出(車検証写し)
- (4) 高齢再雇用社員の休職者給与(正社員準拠)
- (5) 介護休業開始予定日の指定の適用除外(育休と同扱：期間雇用社員)
- (6) 志願制昇任の選考制限(特定疾患の扱い)
- (7) 正社員登用直後の基礎昇給の取り扱い(初任給上限を超える者の扱い)
- (8) 住居手当(持家)に係る協約整備(借入額の定義)

今回の提案は、制度を運営していく上で、不明瞭な部分の規定整備を行うというものであり、運用に疑義が生じないように、協約にあらためて明記する等としています。また、あわせて、先の第3回定期全国大会決定要求交渉で確認した期間雇用社員の雇用形態区分について提案を行ってきたところです。

本部としては、現行手続きを明記することにより、確実な運用を担保するための見直しであり、不利益変更でないことから、提案内容について理解できるものと判断し、妥結整理しましたので周知します。

なお、実施日は、**2011年4月1日**とします。

日 刊 新東京	No.580	2011年2月16日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

第7回

忘れてはならない東京大空襲

昭和20年3月10日は、東京の下町が一瞬にして火の海に包まれ、多くの尊い命が奪われた日です。

米軍機が落とした実に32万発の焼夷弾は、一夜にして10万人の死者を出し、罹災者は100万人に及んだのです。

このむごたらしい惨事を体験した人たちは、もはや高齢です。戦争を知らない私たちがしなければならないことは、まず平和を守ることであり、戦争の悲惨さと愚かさを知ることです。そうすれば、次に何をすべきかが見えてくると思うのです。

毎年3月10日の正午、郵政退職者会東京都協議会（退協）は墨田区の横網町公園内にある東京都慰霊堂で献花・拝礼し、付近の会場で東京平和集会を開く運動を展開しています。

集合場所となる東京都慰霊堂には関東大震災と東京大空襲で亡くなった身元不明者16万体の納骨堂があり、同じ園内には付帯施設として復興記念館があります。ここは、関東大震災の惨禍や東京大空襲による戦災関係資料が展示されていて無料で入れます。

退協が「忘れてはならない東京大空襲」として運動を始め今年で7回目。初めは20名程度の集まりでしたが、回を重ねるごとに増え、昨年は154名が東京平和集会に参加しました。

新東京支部としても参加の呼びかけを行っていますが、教育部・広報部では運動の一環として千羽鶴を折り、東京都慰霊堂へ持って行こうと思います。すでに各分会の組合員さんに協力をいただいています。支部に折り紙を用意してありますので、気が向いたら支部に立ち寄り、折り鶴を作っていただけたらと思います。

戦争で尊い命を奪われた犠牲者に祈りを捧げつつ、平和な社会構築に労働組合として取り組んでいきたいと思っています。

窓口分会 新組合員紹介

2月1日付けで2名のゆうメイトさんがJP労組に加入してくれましたので紹介します。

（日本中の郵便局を巡ってみたい）II型社員のKさん

組合の最初の印象は親睦会やボーリング、バーベキューなどの楽しい行事が多くて楽しそうだなと感じました。組合には共済や各種保険などあって、安く入れるのも加入への動機になりました。日刊にもよく目を通しています。組合に入ることによって、レクを通していろいろな職場の方たちと交流を深めることができればと思います。

（のんびりと過ごす時間が大好きな）I型社員のOさん

正直、労働組合ってちょっと面倒くさそうだな（すみません）という印象がありましたが、組合員の皆様には何かとお世話になっていたもので、お世話になりっぱなしだけでは何だか申し訳ないなあ…等、いろいろと思うところがありまして加入を決意した次第です。

これからも全加入者の皆さんの支えになる団体であってください。よろしくお願いします。

窓口分会送別会

遠藤 仁さん（定年退職）

福島 勝美さん（定年退職）

2011年3月12日（土） 19時30分～22時

東陽町 だんまや水産

詳細は分会役員まで

日 JP新東京 刊	No.581	2011年2月17日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

2 特 A 入試繁忙を振り返って。

今年も入試繁忙がやって来た！
 大量の郵袋がやって来た！
 大量の継越郵袋がやって来て差立担務がすごく大変！
 郵袋の中に入試郵便物がちょっとしか入っていないらしく、小さい郵袋が多い。
 数え間違えしたら厄介、注意しなければ・・・

泊まり帯の差立担務は全部で5名体制、休憩が入ると3名でしばらく作業をしなくてはならない。差立てるのに仮上げ作業というものを行わないといけないのだが大量すぎてこの人数では捌ききれない。どうなる？どうする？

全員が自分の担務で忙しく、1名増員してもらおうのにしばらく気づいてもらえなかったが、作業工程の工夫と段取りの打ち合わせをして意思の疎通を図り乗り切りました。

簡易・特定記録の担務は入試関係が書留に移行したのか、かなり物量増加で大変でした。ここの担務はゆうメイト、本務者、管理者と人数をかけているが、区分棚の数も限られ作業の場所も狭く、物量と人数は見合っているが、ごみごみして効率が悪い感じがした。

書留室の外に使われてない区分棚が何個かあるが、結束に間に合わない判断するまで使われないので、もっとその辺をうまく対応できたら効率が上がるのではないかなと感じました。

いつもは簡易・特定記録の担務が定形外の簡易・記録郵便物を把束機で把束し、継越を仮上げる差立担務が手伝いとして郵袋に納入してあげていた。しかし去年の経験で差立担務に余力はないので簡易・特定記録の担務で郵袋納入しておくよう改善策を打ち合わせしておいたことが的中しギリギリの結束に間に合った・・・ホッ！

書留担務はゆうメイトの確実な入力により不符号事故が起こらず、その要員が機動班として忙しい担務を応援してくれたことが良い効果になった。

また速達の担務のゆうメイトも応援に入ってくれてさらに良い効果につながった。

応援者が来てくれなかったら終わらなかった。

みんなありがとう。

良かったと感じたこと。

1 特の引受が生命線と判断し順調に流れるように管理者が力を入れていたこと。

課の入試繁忙の業研で細かい説明、質問や意見に対するの回答を行っていたこと。

入試繁忙期間の予想物数、繁忙日が的中していたこと。

小郵袋の入試区分特定がなくなったこと。

みんながみんなを気づかい一体感を持っていたように感じられたこと。

綱渡りの各結束便を渡り切ったこと。

いまいちだなーと感じたこと。

課代の負担が大きく、休憩時間を削ってまで作業していたこと。

担当課長以上が負担軽減の配慮をしてあげたらいいのにと感じた。

日によって業研資料を読むだけの業研があったこと。

業研開始日が12/31～と遅かったこと。

各結束便を綱渡りで渡らなければならなかったこと。

1/4から入学願書がドンと入ってくるが、要員は休日程度しか配置していなかったこと。

とにかくみなさんお疲れ様でした。

新東京支部では千羽鶴を東京都慰霊堂へ持って行こうと考えております。折り紙は支部で用意しております。

組合員の皆様、一人一羽でご協力お願いします。

みんなで折って、折って、折りまくって、折り紙工場を儲けさせてあげよう！・・・えっ！目的違ってる？

2月28日（月）までです。V(・・・)

第7回中央委員会 2月17日 東京・池袋 メトロポリタンホテル

- ・春闘 賃上げ・ベア要求見送り
- ・期間雇用社員の
「安易な雇い止めをしない」よう要める
- ・正社員ボーナス月給4・4か月分要求

日本郵政グループ労働組合中央本部は、今年の春闘で郵便事業会社の宅配統合失敗による経営悪化や、郵便物の減少などから多額の営業赤字を抱えていることなどを踏まえ、「正社員の賃金の引き上げ・ベースアップの要求は見送る」とした。

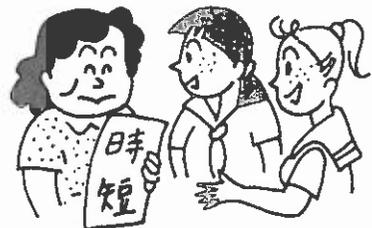
日本郵政グループ労働組合（JP労組）は、2月17日、東京池袋メトロポリタンホテルで第7回中央委員会を開き、中央本部が2011年春季生活者闘争（春闘）方針を示した。

賃金改善の要求見送りは今年で3年連続。宅配便「ゆうパック」統合に伴って（株）郵便事業会社の経営が悪化していることなどが理由だ。

経営側は、グループ社員の賃下げや一時金カットを検討する姿勢を打ち出しているが、地方支部役員からは「危機的な状況を招いたのは重大な経営責任だ」

その一方で、「定期昇給を確保」し、「1年間のボーナスを月給4・4か月分に引き上げるよう要求する」（10年度4・3か月）。

期間雇用社員については「安易な雇い止めをしない」よう求める。



日刊 JP新東京
No.583
2011年 2月21日(月)
日本郵政グループ 労働組合 新東京支部 広報部
03-5606-6784 内線 4353

などと経営陣の責任を追及するよう求める声が相次いだ。

中央本部の竹内

法心委員長は「郵

便事業の収支改善は重大な問題だが、人事や給与面での措置の前に、まずは経営側が責任を果たし、やるべきことを尽くしてほしい」と述べた。

経営側は、郵便事業の立て直しには「経費のおよそ7割を占める人件費の削減が課題だ」として、労使間の交渉は今後難航することも予想される。

例年、妥結・整理は3月中旬以降です。交渉経過には注視していきましょう。



モチベーション下がりっぱなしの管理者対話！！ 異動に同意しないなら契約変更しない…とは脅してはな いのか！！

郵便事業の収支改善について会社側から周知がほしい終わったが、各課では管理者によるあやしげな動きが出ている…。

現場の仕事がどんなに忙しくてもまったく手伝わず、総スカンの某課の課長がゆうメイトさんに対し「〇〇課に異動してくれ、同意しないなら契約更新しない。すぐに回答しろ！」と対話し、強引に「同意」させたという話を聞いた。

またある課では、11勤・12勤のゆうメイトさんに対して「10深に雇用形態を変更してくれ、いやなら雇用しない。契約更新しないぞ！」と管理者が対話をして10深へ契約変更を迫っている。これを「本人同意」といえるのかはなはだ疑問である。

JP労組は、期間雇用社員に対して「安易な雇い止めをしない」よう要求している。組合員の生活と労働条件を守るのは労働組合としては大前提である。たくさんの期間雇用社員を雇用している事業会社は、労働条件の切り下げに対しては社会的責任をも自覚して誠意ある対応を望む。そもそも…そもそも大赤字を生み出した会社の責任問題はどこにいったのか…。

【投稿】

日
刊

JP 新東京

No.585

2011年2月23日(水)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

低採算顧客との取引条件の見直しについて

収支改善施策の短期的な取り組みとして、会社は、①運送便の見直し、②業務量に応じた要員の適正配置、③集荷体制の見直し及び集配作業の生産性の向上、④集配委託料の見直し、⑤お客さまとの取引条件の見直しを実施するとしています。このうち、低採算顧客に対する具体的な見直しの観点は次の通りです。

1 顧客別の費用計算

(1) 引受にかかる費用

集荷にかかる費用及び引受検査にかかる費用を算出

(2) 継越・配達費用

宛地・サイズ別の社内配分より算出

(3) 付帯費用

付帯オペレーションにかかる費用、資材提供費等を算出

*費用の調査は支店で実施

2 顧客との取引条件の見直し

項番1で算出した顧客別費用を元に不足する収納額を支社で取りまとめ算出し、顧客に対して取引条件の見直し交渉（値上げ交渉又は付帯オペレーション等の見直し）を行う。

3 スケジュール

年間差出個数の大きな優先対応顧客（概ね1万個/年以上）については、平成23年3月までに顧客交渉を終了させることとする。

郵便事業会社では、デパートや通信販売の事業者など大口の顧客と個別に交渉して決めている割引料金が赤字を生んでいると分析しており、大口顧客に値上げを要請して、収支の改善を図ることになりました。そのうえで、今後5年程度で「ゆうパック」の黒字化を目指す方針です。

(2/6 NHK ニュース)

低採算顧客の見直しについては、「ゆうパックの値上げ検討」として、ニュースでも取り上げられました。「値上げ」ではなく「割引の見直し」が正しい言い方です。

引受の現場ではかなり前から、大口顧客に対するゆうパックの極端に低い料金設定に、疑問を感じていました。

例えば、2009年の4月から12月までに新東京支店の集荷で引き受けたゆうパックは43万個。これに対し、2010年の同じ時期では57万個に上りました。しかし収納料金はほぼ同じでした。いくつかの顧客の割引率が極端に上がったことが原因です。

例えば、特別料金(3)を適用していた頃には荷物1個当たりの平均単価が706円だった顧客が、相対料金が適用され平均単価は355円になりました。1か月に1万個以上差出がありますので、収入減少の影響は当然大きくなります。また、カタログゆうパックの引受も、同じくらいの単価になる場合が多々あります。商品に含まれている送料分がいくらかは、だいたい見当がつきます。その差額はどこに行っているのでしょうか。

新聞では、成果主義の導入だとか、期間雇用社員の時間短縮だとかいった報道がされていますが、赤字の直接の原因はすべて会社が作っています。表題のような見直しこそ喫緊の重要課題であります。現段階でリストラ・人件費の削減を取り上げることは、まったくナンセンスです。

日刊
JP新東京

No.587

2011年
2月25日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

1普分会参加報告―意見・要望を熱く伝え

宿泊分会代表者会議

垣根を越えた交流が行われた

2月20日～21日にかけて
鬼怒川のあさやホテルにて宿泊
分会代表者会議が行われました。

当日は、50名以上の参加者
が集まり、1普分会からも支部
執行委員を含めた7名が参加し
ました。

日々の業務上の問題や各分会
からの現状、それについての意
見や要望が飛びせられ、多くの

答弁がされました。

1普分会としましては、2月
の中旬頃急に職場に周知された
11勤ゆうメイトの10深夜勤
への移行。それに伴う社会保険
のカットを支部へ意見並びに要
望を熱く伝え、支部としても組
合員には出来る限りの努力はす
るとの返答を貰いました。
また、各分会からは次代を担
う若手の組合員も多数参加し、

『期間雇用社

員の雇い止め

は許さず！』

『業務量を考

えていない雇

用調整がやら

れようとして

いる問題』『パ

レット事故安

全対策の要望』

など多数の意見が上がりました。

会議終了後の懇親会では各分

会ごとに前に出て自己紹介をし

ました。

宴会場では課の垣根を越えた

交流が行われ、よりいっそう新

東京支部の結束が深まったので

はないでしょうか。

1普分会としては、これから

も現場の意見を支部へ伝えてい

くべく努力して行きたいと思



3月10日は東京慰霊堂へ

東京郵政退職者会主催

忘れてはならない 東京大空襲 2011平和集会に集まろう!

今年は、第2次世界大戦が終結した年から66年目となります。

アジア・太平洋戦争での戦禍による犠牲者は、アジアで3000万人、日本人の戦死者はおよそ310万人といわれています。

1945年3月10日の東京大空襲では、わずか2時間半の爆撃で10万人以上の命が奪われた。空襲は東京各地にも広がり、日本全土を焦土と化した。この大空襲でたくさんの方が亡くなった東京には「広島・長崎・沖縄」などにあるような犠牲者追悼の公式施設はありません。市民による犠牲者追悼が戦後からずっと続けられているだけです。

東部郵政退職者会が2005年に開催した第1回『忘れてはならない東京大空襲』集会は、20名程度の参加でした。2008年には東京退職者会全体の集会となり、昨2010年は154名の参加となりました。

現在でも朝鮮半島情勢や米国・中国の軍事演習や軍拡競争などきな臭さが漂っています。世界のどこかでは戦闘が続き、たくさんの犠牲者が出ています。

戦争のない平和な社会づくりを誓うため、今年も東京退協は、東京大空襲犠牲者の遺骨が納められている墨田区の「東京都慰霊堂」に集まります。空襲の事実を歴史から抹消されないためにも、平和集会に参加して平和を発信していきましょう。

東京慰霊堂で献花・拝礼後、集会場へ移動、平和集会を開催します。

日時:2011年3月10日（木）

集合:11時半 開始:12時（正午）

場所:東京都慰霊堂（墨田区横網1丁目）
横網町公園内 第一ホテルの隣

深まった交流

第一回宿泊支部代表者会議

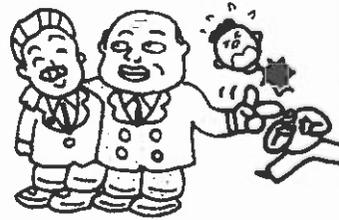
2月20日から21日、鬼怒川あさやホテルにて『第一回宿泊支部代表者会議』が開催されました。執行委員、分会代表者を含め、51名の参加。この内、4名の女性組合員が参加しての会議でした。

冒頭に下山支部長から『新たな組織としてスタート

したが、日常的な議論が欠けている。本日は4名の女性組合員の参加や正社員登用者も参加。

大いに議論を深めよう。この間のマスコミ報道、斉藤社長会見、総務省報告等々あった。雇い止め問題を含め、議論をしていこう。正社員登用は引き続き実施の方向である』と挨拶がありました。

東京地本松本政策部長から中央委員会の報告（要旨）



①2011春闘、②統一地方選、③郵政改革、④交渉課題
『春闘についてはベア求める声あったが、現在の郵政が抱える赤字の状況を考え、ベア要求見送った。東京の組織は3万名達成した。竹内委員長はユニオンシヨツプ制について一歩前に出た状況と発言した。郵便減少、ゆうパック統合混乱で1050億円の赤字。まだ膨らむ。ゆうパックは5年後黒字化。要員の見直し。期間雇用社員の雇い止めについては、組合員は守っていく』等の説明がありました。

以上の報告を受けて討論が行われました。

「忘れてはならない東京大空襲」折り鶴 現在840鶴

日刊

新東京

No.588

2011年
2月28日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

期間雇用社員の雇い止め、11春闘について

『雇い止め云々というが、現場では会社が経営責任を明確にしていないことが一番問題だという声が多い。日通からきた人は8時間契約だが、6時間に短縮。月収4万減。生活できない。子供が歯科大学入学。学費払えなくなる等の実態がある。組合で対応をお願いする』（2パック）『病気で休んでいたが回復して職場復帰。その人に会社は雇い止め通告。理由は長期に休んでいたからとしか説明しない。11勤を10深。保険関係で問題ある。ベースアップ、昨年はパートナー組合員の質上げ求め

動員 連合春闘中央総決起集会 明治公園 3/5 10時～

た。今年は軽い感じがする』（2普）『ベースアップ求めないというが、会社は経営責任とっていない。雇い止めされる期間雇用社員は納得いかない』（2特）等々の発言がありました。

松本政策部長の説明

『中央委員会では、全地本から経営責任について発言あった。本部は、全体パッケージが会社から出ていないので、状況を見極めてとなった。勤務時間調整については業務状況や要員で、やむなしかと思う。ベア見送り。赤字を抱えている中でベア求めるのは如何なのか。人件費についても手を付けないと厳しいことになる。このままではJALと同じ債務超過になる』

下山支部長からは『上部と意志疎通をしてきた。様々な無駄についても検討。雇い止めに関しては労使委員会で組合員に対する対応は求めている』等の説明がありました。



二日目は、職場での具体的問題点に関しても多くの意見が出されました。詳細は近日中に報告します。

組織統合後、初めての泊まり込み交流でしたが、分会を越えて交流できたことは大変有意義でした。

※夜を徹しての、かなり熱い論議もあったようです。それも良しとしましよう。